

みはらふくし情報

ぼらせんだより 2月



あいがとうの気持ちを込めて“おんがえしプロジェクト” 食糧支援して、学生を応援しよう

三原市ボランティア・市民活動サポートでは、
市内在住の学生を支援するために、食糧を集めています！

新型コロナウイルス感染症の拡大により、リモート授業に変わり、アルバイト探し・継続も難航し、日々の生活に困っている学生がいます。

平成30年西日本豪雨時には、災害ボランティアとして、三原市内の被災地で積極的に支援してくれた学生達。しかし、今は、彼らが支援を必要とし、私たちが支援をするときです。

「おんがえしプロジェクト」では、皆様の会社やご家庭に眠っている食品をご寄付いただき、その食糧を生活に困っている学生にお渡しします。

皆様のあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

Q. どんな食材がよいのか？

A. 常温保存できる未開封のものでお願いします。缶詰などの加工食品、精米しているお米、パスタなどの乾麺、フリーズドライ食品、インスタント食品やレトルト食品など。

Q. 1個からでもよいのか？

A. 1個からでも受け取ります。

Q. 賞味期限はあるのか？

A. 期限切れまで3カ月以上あるものでお願いします。



Q. どこに持って行けばよいのか？

A. 三原市社会福祉協議会の各地域センターやボランティアセンターへの持込み、または郵送でお願いします。
(送料は自己負担でお願いします。)



《問合せ・送付先》

〒723-0014

三原市城町1丁目2番1号 サン・シープラザ4階

三原市社会福祉協議会

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

☎ 0848-67-9339 FAX 0848-63-0599

紹介します！個人ボランティア 山岡昌美さん

山岡さん（右から2人目）

昨年12月24日（木）個人ボランティアの山岡昌美さんが、御作事サロンにて生け花の指導をされた様子をご紹介します。この日のテーマは、「楽しくお正月の花を生ける」各自で自由に生け、最後に山岡さんがアドバイスをしていきました。やわらかく優しい口調で丁寧に質問に答えられていましたよ。



「どの花をメインにしたいですか？」一人一人の希望に合わせて的確なアドバイスをしていきます。メインにする花によって、他の花の高さや量も変わっていきます。茎を切る場所や、枝の曲げ方、葉の量や花の向き等、細やかに指導されていました。少し手を加えるだけで、グンと素敵になってびっくりしました！

**生け花は楽しむのが一番！
できあがったら拍手！**



全集中！

お正月の素敵な生け花が並びました。同じ種類の花を生けているのに、個性がしっかり表れるものですね。

何十年ぶりに花ばさみを使いました。久しぶりに生け花をして、とても楽しかったです。良い刺激になりました。

ボランティア活動時に新型コロナウイルスに感染した場合のボランティア活動保険の取り扱い

よくあるご質問（Q&A）

- Q1. 新型コロナウイルスに感染しても軽症や無症状の場合の補償は？
A1. PCR検査等によって陽性と判定された場合、「発病」として取扱います。
- Q2. 軽症者や無症状者がホテル等の臨時施設や自宅で療養する場合の補償は？
A2. 新型コロナウイルスを発病し、医師の指示に基づき臨時施設や自宅等で療養する場合は「入院」とみなして補償します。

全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター
ボランティア情報 10月号より一部抜粋



御作事サロンのみなさんはとても元気！百歳体操を一生懸命にされていました。



●みはら市民協働サイト つなごうねっと ●

三原のイベントや団体の情報満載！

<http://mihara.genki365.net/>

ボラセンに閲覧用のパソコンがあります。

発行：三原市社会福祉協議会

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

〒723-0014 三原市城町1丁目2-1

(サン・シープラザ 4階)

電話 (0848) 67-9339

FAX (0848) 63-0599

Mail miharavs-c@m-shakyo.jp